

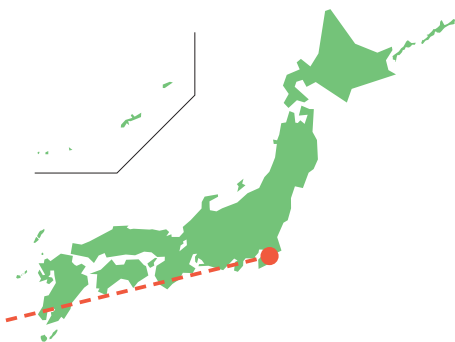
写真で見る

# 都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて  
移り変わってきたまちの姿。  
今と昔を写真とともに振り返ります。

もばら  
茂原市(千葉県)



令和  
4年  
(2022年)

鉄道は高架化、駅前広場と一体的な駅へと変化



総務部秘書広報課  
広報広聴係  
よしの つかさ  
吉野 司さん

## 未来へつながる「交流拠点都市」もばらの実現へ

市制施行70周年を迎えた茂原市は、房総半島のほぼ中央に位置し、温暖で四季折々の自然と天然資源に恵まれ、農業・商業・工業のバランスがとれたまちです。発展とともに人口も増え、外房線の主要駅の一つである茂原駅は、昭和62年に鉄道高架と駅前広場が完成し、一体的なまち並みとなりました。

また、平成25年の首都圏中央連絡自動車道開通により、首都圏各地や空港へのアクセスが飛躍的に向上し、さらに令和2年にスマートインターチェンジが整備されたことで、生産や物流拠点としての魅力が高まっています。



昭和  
53年  
(1978年)

昭和53年の旧茂原駅前。周辺にはまだビルもない状況